

大会宣言

2018年9月1日から2日にかけて、私たちは「市民オンブズマンの逆襲!!—公共交通機関のあり方、今どきの入札・今どきの談合—」というテーマで、第25回全国市民オンブズマン新潟大会を開催しました。

今回のテーマの1つである公共交通機関の導入の決定については、恣意的なデータを示し、市民の意見を反映させる努力もせず、自治体や関連企業のことを優先する決定がなされていることが報告されました。もう1つのテーマである入札については、工事成績評価と落札率の関係を調査しないまま地方公共団体は品質確保の名の下に総合評価方式を導入し、さらに一者入札を容認し続けることで入札制度を骨抜きにしていることが明らかになりました。

ところが、それらを本来チェックすべき議会がその機能を十分果たしていないばかりか、あいかわらず多くの議会が政務活動費の用途すら説明しようとせず、議員による政務活動費の不正支出もいまだに存在しています。そして、市民が行政をチェックするための情報公開制度が、文書の隠ぺい・不当な破棄や改ざんによって瀕死の状態になっています。

しかし、ここに集った私たちは、あきらめることなくこの厳しい状況に打ち克ち、行政の意思形成に市民の意思が真に反映される社会を目指し、以下の4点を決議します。

記

- 1 公共交通機関のありかたについては、公正で十分な情報の公開と、住民の意思を直接問う機会を地方公共団体に設けさせること
- 2 一者入札を無効とし、総合評価方式を見直して、談合を防止する透明性のある入札制度を実現させること
- 3 政務活動費情報のネット公開を行わせ、その他の議員活動の透明性を実現させること
- 4 情報の不当な隠ぺい・不当な不開示を許さず、徹底的に争っていくこと

2018年9月2日

第25回全国市民オンブズマン新潟大会参加者一同